

動物実験に関する検証結果報告書

学校法人 北陸大学

動物実験に関する外部検証事業

(公益社団法人日本実験動物学会)

2022年3月

2022年3月7日

学校法人 北陸大学
学長 小倉 勤 殿

貴機関における動物実験の実施体制に関して、提出された自己点検・評価報告書に対する検証結果を通知します。

公益社団法人日本実験動物学会
理事長 三好 一郎



対象機関：学校法人 北陸大学
申請年月日：2021年7月26日
訪問調査年月日：2021年10月29日
調査員：三浦 竜一、橋本 憲佳、田崎 隆史

検証の総評

北陸大学は、1975年に薬学部を有する単科大学として開学し、現在医療保健学部、経済経営学部、国際コミュニケーション学部を加えた文系・理系学部を複数有する大学であり、動物実験は薬学部で実施されている。文部科学省の「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針（以下「基本指針」という。）」と環境省の「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準（以下「飼養保管基準」という。）」に基づいて定めた「北陸大学動物実験規程（以下「規程」という。）」に従って、動物実験委員会、動物実験計画書等の各種様式、飼養保管施設と各種マニュアル、教育訓練、情報公開等の、適正な実験動物の飼養保管及び動物実験の実施に必要な体制が適切に整備されている。

動物実験委員会の活動は充実しており、動物実験計画書の審査、実施状況の把握、飼養保管施設の視察、自己点検・評価の実施、麻酔薬にかかわる通知、外部検証の情報収集と準備等の活動が確認できた。教育訓練と情報公開では、必要な項目や内容が網羅されていた。飼養保管施設は整理整頓され、衛生的な環境が維持されていた。

動物実験及び実験動物の飼養保管について、実施体制及び実施状況いずれも基本指針及び飼養保管基準に適合した状況にあり、現状を維持しつつ学外からの情報を収集し活用して、引き続き適正な実施を目指した活動を推進されたい。

検証結果

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 機関による自己点検・評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程を定めている。 <input type="checkbox"/> 機関内規程を定めているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 機関内規程を定めていない。
2) 自己点検・評価の妥当性
「公私立大学実験動物施設協議会（以下「公私動協」という。）」が公表する「動物実験規程（雛形）」に準拠した、「北陸大学動物実験規程」を定めている。よって、機関内規程について、自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 <input type="checkbox"/> 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 機関内規程が定められていない。
4) 改善に向けた意見
規程において自己点検や情報公開が委員会の責務とあるため、学長の責務に修正されたい。

2. 動物実験委員会

1) 機関による自己点検・評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会を設置している。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会を設置しているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会を設置していない。
2) 自己点検・評価の妥当性
動物実験委員会は規程に従って3要件それぞれの委員が選任されている。よって、動物実験委員会について、自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれていない。
4) 改善に向けた意見
動物実験の実施が、2020年時点では薬学部のみであったが、その後他部局が追加されたことか

ら、委員会規程の改正等必要な対応を行われたい。

3. 動物実験の実施体制

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針に適合し、動物実験の実施体制を定めている。
- 動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。
- 動物実験の実施体制を定めていない。

2) 自己点検・評価の妥当性

動物実験にかかわる各種様式があり、動物実験計画の立案、審査、承認、結果報告等の実施を把握できる体制を定めている。よって、動物実験の実施体制について、自己点検・評価の結果は妥当である。

3) 検証の結果

- 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。
- 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 動物実験の実施体制が定められていない。

4) 改善に向けた意見

動物実験を実施する学部を追加にあわせて、組織体制を整理されたい。

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めている。
- 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。
- 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めていない。
- 該当する動物実験を行っていないので、実施体制を定めていない。

2) 自己点検・評価の妥当性

「北陸大学組換え DNA 実験安全管理規程」により、遺伝子改変動物の飼養保管、譲受・譲渡、情報提供等の体制が定められている。動物の麻酔で用いる向精神薬の管理体制も適正である。よって、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制について、自己点検・評価の結果は妥当である。

3) 検証の結果

- 該当する動物実験の実施体制が定められている。
- 該当する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 該当する動物実験の実施体制が定められていない。

<input type="checkbox"/> 該当する動物実験は、行われていない。
4) 改善に向けた意見 特になし。

5. 実験動物の飼養保管の体制

1) 機関による自己点検・評価結果 ■ 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性 2か所ある飼養保管施設は、「動物実験施設利用手引き」「動物逸走事故対応マニュアル」「緊急時対応マニュアル」を備えている。よって、実験動物の飼養保管の体制について、自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果 ■ 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見 特になし。

6. その他 (動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果)

2020 年度に公私動協に加盟し、外部検証に必要な情報を収集し、準備を進めてきた。学校行事として動物慰霊祭を開催している。2021 年度から、医療保健学部においても動物実験を実施している。
--

II. 実施状況

1. 動物実験委員会

<p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>動物実験計画は「北陸大学動物実験計画審査要領」により、委員全員による持ち回り審査が行われている。実施状況報告や自己点検・評価等は委員会を計3回開催しその中で確認し、学長に報告している。また、年2回動物実験施設の定期視察を行っている。よって、動物実験委員会について、自己点検・評価の結果は妥当である。</p>
<p>3) 検証の結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>4) 改善に向けた意見</p> <p>特になし。</p>

2. 動物実験の実施状況

<p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験を実施している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>実施状況報告書と動物実験に関する自己点検票の提出率は100%であり、適切な実施状況にあることを確認している。また、動物実験計画書は、継続する場合であっても必要に応じて更新した後に毎年提出され、審査が行われている。よって、動物実験の実施状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。</p>
<p>3) 検証の結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>4) 改善に向けた意見</p> <p>特になし。</p>

3. 安全管理に注意を要する動物実験の実施状況

<p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、当該実験を適正に実施している。<input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。<input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。<input type="checkbox"/> 該当する動物実験を行っていない。
<p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>安全管理を要する動物実験として遺伝子改変動物を使用する実験があり、組換え DNA 安全管理委員会との情報を共有し適切に実施されている。動物実験がかかわる事故の発生はなく、安全の確保がなされている。近年、委員会は、動物実験において推奨する麻酔薬と推奨されない麻酔薬に関する通知文を発出している。よって、安全管理に注意を要する動物実験の実施状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。</p>
<p>3) 検証の結果</p> <ul style="list-style-type: none"><input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験が適正に実施されている。<input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。<input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。<input type="checkbox"/> 該当する動物実験は行われていない。
<p>4) 改善に向けた意見</p> <p>特になし。</p>

4. 実験動物の飼養保管状況

<p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。<input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。<input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>「動物実験施設利用の手引き」をはじめとして、各種マニュアルや様式に従って適切な飼養保管が行われている。また、他機関の動物を搬入する場合、書面検査あるいは検査室での隔離飼育が行われる。よって、実験動物の飼養保管状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。</p>
<p>3) 検証の結果</p> <ul style="list-style-type: none"><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。<input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。<input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>4) 改善に向けた意見</p>

特になし。

5. 施設等の維持管理の状況

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に維持管理している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

SPF マウスを飼育する第一動物実験施設と、ウサギやモルモットの飼育もできる第二動物実験施設があり、ともに衛生的な良好な環境下で飼養されている。実験動物の飼養保管や健康状態は、常に専任の職員により把握されている。定期的な微生物モニタリングによって、第一動物実験施設が SPF であることを確認している。よって、実験動物の飼養保管状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。

3) 検証の結果

- 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

特になし。

6. 教育訓練の実施状況

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

動物実験従事者だけでなく、実験動物管理者、飼養者及び学生に対して、動物実験委員会の委員が講師となって同一の教育講習を実施している。教育教材には必要とする項目・内容が含まれている。2020 年度に実験動物管理者向けの教育訓練が受講されていないことから、「一部に改善すべき点がある。」との自己点検・評価の結果であるが、公私動協に加盟し 2021 年度に受講していることから、「基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。」とする。

3) 検証の結果

- 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。

<input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見 特になし。

7. 自己点検・評価、情報公開

1) 機関による自己点検・評価結果 <input type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性 機関内規程、自己点検評価の結果(2018年度以降)、実験動物の飼養保管状況及び「推奨されない麻酔薬」に関する通知を大学内の HP 上にアップロードしてあり閲覧できる。外部検証の未実施をもって、「一部に改善すべき点がある。」との自己点検・評価の結果であるが、本年度実施することから、「基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。」とする。
3) 検証の結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見 HP 内の「研究活動>研究設備>動物実験施設」のサイトにおいて、施設情報及び「動物実験に関する情報公開」が記載されているが、見つけにくい。名称を工夫する等により、情報公開が行われていることが明確にわかるようされたい。

8. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)

特になし。
